



創生会  
田頭 敬康  
たがしら のりやす

### 6月の大雨による災害への対応について

**問** 6月の大雨による災害、特に家屋等が損壊した方への市としての手当、対応はどのようにしていますか。

**答** 家屋等の被災者への対応は、生命の安全を第一に、まず避難を最優先としています。6月の大雨災害時は、113カ所の避難所を開設し、30カ所へ避難をいただきました。避難をされた方に市営住宅の入居の案内等もしました。また、被害者への支援制度として、市税・保険料等について、減免制度を適用し、固定資産税の減免措置を講じました。見舞金は、全壊5万円、半壊3万円を交付しており、現在も被災状況の調査を継続しています。

### 空家対策について

**問** 空家等対策協議会の今後の取り組みと空家等対策計画の策定及び空家対策条例の制定や空地対策についてどのように考えていますか。

**答** 今年度は、空家等対策計画策定にあたり、計画内容について協議します。来年度以降は、空家が特定空家に該当するか否かの判断や、特定空家に認定された空家に対する措置の方針等を協議します。計画策定は、来年1月末を目途に取り組んでいます。空家対策条例の制定は、今後計画策定の中で、必要な条例を整備します。また空地対策は、市として課題意識をもって検討します。

### 中学校給食について

**問** 過去5年間中学校給食の全校実施について訴えてきました。やっと今年9月から市内全中学校で実施されました。これは、戦後70年の尾道市教育行政の中で、画期的なことだと思えます。これからは中学校給食の充実だと思えます。全員喫食制実現に向け、無料給食等を検討してはどうですか。

**答** 中学校給食は、就学援助の負担なく食べることができることから、まずはこの制度の周知徹底を図り、全ての子どもが昼食を食べることができるところを目指します。給食費の負担軽減については、多額の財政負担を伴うことから慎重に研究したいと思えます。



誠友会  
二宮 仁  
にのみや ひとし

### 西御所のまちづくりについて

**問** 西御所地区まちづくり協議会から住みやすいまちへの要望書が出されました。最近、西御所で建設されたばかりの高層マンションがすぐに完売するなど、当地区に住みたい人が増えています。市は地方創生への戦略で住宅環境整備を掲げますが、不足する住宅環境機能を補う機能ミックス事業を行ってはどうですか。また、市内の新築住宅は毎年何戸ずつですか。

**答** 当地区は民間資本による投資の潜在需要が高い地区と認識しており、良好な住環境創出や活性化に向け、国や県と情報共有しながら取り組んでまいります。新築住宅数は平成23年度371戸、24年度343戸、25年度347戸、26年度333戸、27年度323戸です。

### 市民表彰制度について

**問** 広島県と広島市は、カープの黒田選手と新井選手に荣誉をたたえる県民荣誉賞、市民賞をそれぞれ贈りましたが、尾道市条例に

基づく表彰実績は。また全国的な活躍をする人で尾道市ゆかりの人に尾道市民賞を贈る考えはありませんか。

**答** 市制施行記念の周年時等に表彰条例に基づき表彰しており、確認できるもので表彰状を49名5団体に、感謝状を201名304団体に授与させていただいており、尾道市民賞は市民に明るい夢と希望を与えた方に尾道市民荣誉賞を贈ることとしています。

### 猫のまちについて

**問** ネットで「広島キャットストリートビュー尾道編」を公開、同観光サイトへのアクセス数が1週間で132万ページビューを記録するなど、猫のまち尾道が一気に知られることになる一方で、NPO法人の協力で県の犬猫の殺処分ゼロが見込める状況になりました。野良猫を嫌う住民もおり、ルールが大切ですが、猫の多いまちではなく、猫を愛する市民が多いまちへ向けた市の取り組みはいかがですか。

**答** 広報おのみち等を通じて不妊去勢手術の実施、置き餌をしないなど正しい猫の飼い方を啓発し、県の進める地域猫活動の周知に努めてまいります。



新和会

みやち 宮地

ひろゆき 寛行

## 因島水軍城にお金が落ちる仕組みを

**問** 因島水軍城で杜仲茶やカフェオレ大福・はっさく大福などを提供してみてもいかがでしょうか。また、それらをお土産物として注文を受け、宅配で送れるようにしてみてもいかがでしょうか。

**答** 現在は高台という立地条件から現状のサービスになっていません。引き続き因島観光協会と連携して研究してまいります。

**問** 観光客に村上海賊を味わっていただくために、男性にはよよい、女性には着物、子どもには兜など、本物そっくりに作った軽量で簡単に着付けの出来る物を作って記念写真を撮り、有料で持ち帰らせるサービスを始めたいと考えています。いかがでしょうか。パッケージの工夫、CDRによる電子化等アイデアを出せばお金も落ちるのではないですか。

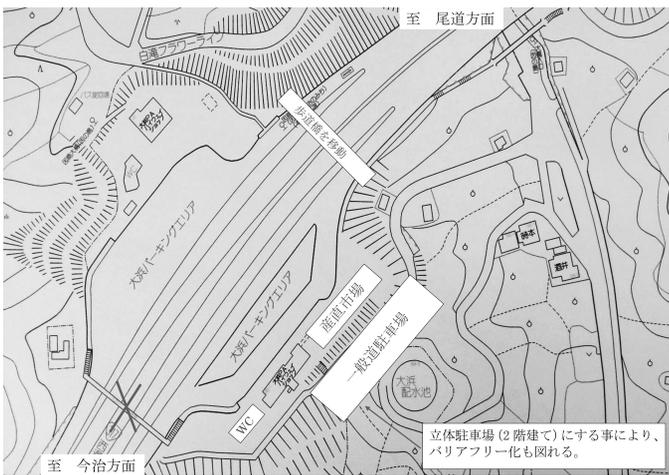
**答** すでに武者体験は行っていますが、手軽で軽量な甲冑による武者体験等も検討してみます。

## 大浜PAに産直市場を

**問** 国土交通省は高速道路のSAやPAを地域の核とするモデル箇所を募集していたが、大浜PAを一般道からも侵入できるような駐車場を整備し、産直市場や物産展などができる施設を創ってみてもいかがでしょうか。

**答** これからの因島を訪れる観光客に大いに期待できるものであり、大浜PAを活用した因島地域の活性化に向けた取り組みを行ってまいりたいと考えます。

「リニューアル案」



公明党

かのう 加納

こうへい 康平

## 加速化する高齢化・困窮する高齢者について

**問** 平成27年国勢調査の「抽出速報値」から本市の高齢者の実態と生活困窮者自立支援制度の取り組みについて伺います。

**答** 本市住民登録に基づいてお答えします。高齢化率は34.24%、高齢者のみの世帯は36.25%、他市に比べても一段と厳しい状況です。

また、生活困窮者自立支援制度による高齢者の困窮対策の取り組みについては、昨年4月に開設した「くらしサポートセンター尾道」が、1年間で172件の相談を受けています。このうち、高齢者にかかる相談件数は31件、内容として健康、隣人との人間関係、行政手続き、生活の困窮や一人暮らしの相談などでした。これらの相談は、自立に向けプランを作成し支援を行った2件のほか、社会福祉課、地域包括支援センター等の関係先との連携で、問題解決に取り組みました。この制度はこの1年間で一定の認知度は得られた

と思っていますが、支援の必要性を感じていない相談者への対応も課題と捉えており、今後信頼して相談いただけるよう相談員の能力向上を図るとともに、制度の広報に努めてまいります。

## フォレストベンチ工法の導入について

**問** 6月の豪雨で土砂災害が市内全域で発生し、その被害総数は2,700件あまりになったと聞いています。この傾斜地土砂災害対策に有効な工法として、以前提案させて頂いたフォレストベンチ工法の導入について改めて市長のお考えを伺います。

**答** 今年の6月の降雨災害は、多数の被害箇所が発生しました。今後は、このような災害が増えるものと考えられ、今までにない復旧工法も検討する必要があると考えています。

ご提案のフォレストベンチ工法は、斜面を階段状に造り替え、土石流の原因となる表流水と土砂を分離し、斜面の安定を高める工法であり、今後、斜面地の土石流災害箇所等の復旧工法として、採用に向けて検討してまいります。



市民連合  
やまもと  
山戸 重治  
しげはる

### 新庁舎の基本設計について

**問** 魅力を持った新庁舎の建設によって新しい人の流れを創出し、市街地全体のにぎわいを高めるための内容は、基本設計ではどのように計画されていますか。

**答** 尾道水道に浮かぶ客船のよきな意匠とし、休日・夜間にも屋上や多目的ホールを開放することで、市民や観光客が集い、尾道水道や尾道三山の景観を楽しむ魅力的な場所とすることでにぎわいを高めたいと思います。

**問** 新庁舎の災害に対する備えはどのようなようになっていますか。

**答** 耐震安全性の分類を「I類」とするために免震構造を採用し、1階の床面を1m15cmかさ上げし、南海トラフ地震で想定される最大の津波の高さより25cm余裕を持たせ、基礎部分は支持層までの強固な杭の打設などで万全の対策を講じています。

**問** 基本設計は、当初の予定より半年余り遅れて完成して

いますが、新庁舎完成までのスケジュールに変更は生じないのででしょうか。

**答** 実施設計の完了を3か月延期し今年度末としているが、平成29年10月の建設工事着工、31年9月の竣工、33年3月までに現庁舎解体と跡地整備を行い事業を完成させるという当初の計画に変更はありません。

### 新公立病院改革プランについて

**問** 国からの通知を受けて、今年度末を目的地に策定している尾道市立市民病院や公立みつぎ総合病院の新たな改革プランについて、基本的な考えをお聞きかせください。

**答** 地域において必要な医療提供体制の確保を図り、不採算医療や高度・先進医療等を提供する重要な役割を担い、住民の福祉の増進を図ることを基本にしています。

\*耐震安全性の分類で「I類」の建物は「大地震の後も建物を補修することなく使用でき、人命の安全確保と共に、十分な機能の確保も図られる」とされています。



日本共産党  
うおたけ  
魚谷 悟  
さとしる

### 新市庁舎の建設について

**問** 新市庁舎の事業費は、48億円↓70億円↓90億円と公表されるたびに増えていますが、どうしてですか。

**答** 建設物価の上昇や必要な経費の計上で計画を上回る事業費になりました。

**問** 事業費の積算が甘かったとの思いはないですか。

**答** 甘かったとは思っていません。

**問** 1㎡当たりの工事単価が三原市よりも10万円も高いがどうしてですか。

**答** 高層の建物より割高になることと、タワークレーンの設置や多くの人に集い、楽しんでもらう設備に費用がかかったためです。

**問** 新市庁舎の事業費は、議会が承認した70億円を基準にすべきではないですか。

**答** 現計画の90億円で進めていきます。

**問** 液状化で電気、水道はストップして庁舎の機能は麻痺。周

辺は建物の倒壊と道路の破損で市庁舎に近づけなくなります。このような場所での新築は、防災拠点の役割が果たせないのではないですか。

**答** 電気は72時間業務が行えるように非常用発電機を備えます。

**問** 液状化する場所へ新庁舎を建てる現計画を全面的に見直してはどうですか。

**答** 明治31年から市庁舎はこの場所であり計画通り進めます。

### 米国の核先制不使用について

**問** 安倍首相が核兵器の先制不使用宣言をしないようアメリカに求めましたが、非核都市宣言をしている市の市長として、どう受け止めていますか。

**答** 国の外交に関わることなので、地方公共団体の長が見解を述べる立場にありません。

### 安心・安全のまちづくりについて

**問** 6月の豪雨で、土砂くずれを中心に多くの災害が発生しましたが、この3年間で危険箇所対策は、どのくらい行われたのですか。

**答** 危険箇所数は市内で2210カ所、その内対策工事が実施されたのは11カ所です。



尾道未来クラブ  
いしもり 石森 啓司

## 商店街大火災の今後

### 問

今後もし起きるかもしれない商店街火災の防火対策と、焼け跡の活性化再開発のために、平成30年夏の尾道駅舎の新築をにらみ、合併特例債などを活用した商店街づくりのビジョンがあればお聞かせください。

### 答

初期消火が被害の軽減につながることから、地域での訓練や防火指導の実施、住宅用火災警報器、消火器の普及・促進に努め、地元消防団との連携を密にし、消防力の強化を図ります。

また、火災跡地につきましては、地権者の皆様のご意向を基本として総合的に協議してまいりたいと考えております。

## 豪雨による災害対策

### 問

梅雨豪雨による土砂崩れ等々の人の命を助けるために、それぞれの地域で行政担当者話し合い、避難場所の見直しや施設整備など充実させ、地域に委ねられるところは地

域に任せる、という考えはありませんか。

### 答

消防局では長時間に及ぶ活動が効果的に行えるよう、消防局業務継続計画を作成します。また、消防団においては指揮命令系統や情報手段を確認し、避難勧告発令時には、地域住民の避難誘導を優先した活動を取り決めております。

避難所については、地域の皆様と話し合っていたことが防災上重要と考えております。避難所の鍵については市の担当職員が開錠することとしておりますが、地域で鍵の管理をすることについては今後研究いたします。防災備品については、毛布など一部の生活物資について配置の検討をしております。

## 少子化対策

### 問

間違いなく訪れる少子化に対し、将来の尾道で生きていく子どもたちに対し医療費、給食費の軽減についてどのような対策をお考えでしょうか。

### 答

医療費については、国が全国一律に行うべきものと考えており、国の責任において制度化するよう強く要望しています。給食費の負担軽減については慎重に検討しているところです。

## こんなことが決まりました(主なこと)

### 補正予算(1万円未満切り捨て)

- 予防接種事業 969万円
- 小規模崩落地復旧事業 6732万円

- 橋りょう定期点検事業 2500万円

- 街なみ環境施設整備事業 2500万円

- 道路改良工事に伴う物件補償 6091万円

- 図書館修繕事業 4800万円

- 農林水産施設災害復旧事業 1億1200万円

- 公共土木施設災害復旧事業 2100万円

### 条例改正

- 非常勤の職員について、新たに

設置し、及びその報酬の額を定めるため、並びに廃止するため  
の条例改正

### その他

- 工事請負契約の締結  
東生口公民館建設工事  
(建築主体) 2億4494万円
- 油屋新開排水施設改修工事 1億2420万円
- 工事委託協定の締結  
尾道市公共下水道尾道市浄化センターの建設工事  
(長寿命化計画 機械設備・電気設備) 3億1900万円
- (機械濃縮施設増設) 3億850万円



## 計報

寺本真一議員(69歳・日本共産党・7期目)が、10月7日お亡くなりになりました。  
平成3年5月から25年余り務められ、経済常任委員会委員長などを歴任されました。  
謹んでお悔やみを申し上げます。